

KIRAMEKI  
八幡平市商工会  
女性部会報

No.12  
2012.1

附 八幡平市商工会女性部  
八幡平市大夏55-63-85  
Tel 0195-76-2040  
Fax 0195-76-2145

## 年頭のあいさつ

部長  
遠藤 一子



平成二十四年度年頭の年頭にあたりまして、謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃、女性部活動へお忙しい中、御協力頂き有難う御座います。昨年の三月十一日に発生した東日本大震災(巨大大津波)により被災された日本各地へのスピード感のある復旧、復興、地域経済の活性化を願ってやみません。私達の出来る事を皆で考え微力ではありますが、力になりたいと思っております。皆様にとりまして希望に満ちた二〇一二年に成りませう。

女性のバフで前進し、笑顔でこの不況を乗り切ろう頑張りますよ。

十月十一日(土)十四日、第十三回 商工会女性部全国大会 in やま「ハノラマ キトキト 富山祭! 素敵な仲間との出会い」がけよう伝えようきらめく明日へ」を富山市で開催しました。全国から三千三百名が参加し、商工会女性部全国組織化四十五周年記念事業の報告、各種表彰も行いました。また東北、北海道ブロックから東日本大震災への義援金や支援活動に対する御礼と復興状況の報告がありました。本年の主張発表全国大会は、大震災の影響から代表を辞退した東北を除く五ブロックの発表でした。今までの発表とは異なり、笑いの多い活気ある会場と全員が最優秀賞を末武米子会長から頂きました。

十月八日から十日までの三日間、松尾のさくら公園で山賊まつりが開催されました。今年はい三日間ともお天気に恵まれ、暑いくらいでした。私が参加したのは九日でした。女性部の皆さんはベテランさんばかりで息も合い手際もよく、お客様が並んでもなんのその、待たせることもなく次々こなしていました。またお客様から「とてもおいしかった」と声をかけられうれしい気持ちになりました。駐車場も他県の車でいっぱいでした。ハチマンタイラッシュも迫力があり、子供達も喜んでいました。

「悪かいうどんをどうぞ」  
食量も好評でした。



## 山賊まつり売店

後日、三日間とも大盛況でうごちも売れたと聞き、お手伝いできてよかったと思います。私は今回で四回目の参加になり又来年も参加したいと思っています。(遠藤ノリ子)

## チャリティーバザー

山賊まつりの最終日。私は震災被災地の方へ寄付としてのバザー

# 八幡平市 山賊まつり



## 山賊まつりに参加して

ながには泣きながら、握手をしていき子供もいました。

のお手伝いをさせていただきました。部員の皆さまからのご好意の商品の数もさすが三日目となると品薄状態。売れもさし悪気込み充分の私たち。商品の魅力とお客様の心温まるご協力。加えて熟女店員相乗効果もあつたのかな。商品はほぼ完売。でも秘密もあつたんです。お客様に「半額ー」の一声。内緒にしてごめんなさい。(立柳陽子)



皆様の良き御手助けチャリティーバザーは大好評。その収益は、震災被災地にお届けしました。

### ～山賊まつり食堂開設収支報告～

#### 【収入の部】

82,800円	10月8日(土)
110,800円	10月9日(日)
83,800円	10月10日(月)
計 277,400円	

#### 【支出の部】

96,211円	うどん他
32,973円	どんぶり・着地
7,282円	スタッフおむつ
19,240円	ガス代、出店料
計 155,706円	
(収入)277,400円 - (支出)155,706円 = 121,694円	

### ～チャリティーバザー収支報告～

#### 【収入の部】

60,300円	10月8日(土)
39,750円	10月9日(日)
14,300円	10月10日(月)
計 114,350円	

#### 【支出の部】

840円	手揚げ袋代
計 840円	
(収入)114,350円 - (支出)840円 = 113,510円	

### 〈東日本大震災復興支援 募金箱〉

10月8日(土)～10日(月) 11,236円

視察研修

# 東日本大震災

## 女性部復興支援

被災地を二度にわたる訪札、視察研修、ボランティア活動。  
震災見舞金の贈呈などをさせていただきました。



### 釜石・大槌を視察

今年度の視察研修は九月十八日に、東日本大震災被災地の釜石市と大槌町へ部員二十三人事務局一人の参加で行って来ました。



宝来純子さんの  
宝来純子さん

まず最初は、釜石市で「玉来館」を経営されている女将の岩崎裕子さんからお話を伺いました。この方は報道で津波が迫ってくる坂道をもへ姿



上：大槌市立女子体育館で震災見舞金贈呈  
下：視察研修に参加した女性部のメンバー

で逃げられて来られました。波に飲まれてもなかなか助かったとのこと。あの日から半年過ぎて、気持ちも喜怒哀楽が、そして抜けて「秋風が吹いてきた」と感じました。悲しい、寂しい、切ない心境を語って下さいました。「今は皆が集まる空間がとても大切です。」「みんなでがんばらなきゃいけません！生きろ！」「互いに支え合おう」といっていました。

## ボランティア。

### 震災見舞金贈呈



復興高田商工会女性部から震災見舞金を贈呈

十月十日、東日本震災に伴う女性部被災地復興支援研修で、遠野まきネットの支援隊の方と遠野陸前高田・住田の女性部員と泉東の職員、九名で陸前高田市の仮設住宅へおし湯体験ボランティアとして行ってきました。

午後から二時間ほど、実際にあし湯、遠野では、支援の為に講習を受け、い訪ねて来て下さいと女将さんからのお言葉でした。午後、大槌商工会仮事務所にて部長、副部長が女性部に震災見舞金を届け、お礼の言葉を頂きました。

手のひらや腕をマッサージし、被災者と交流しました。自分に何が出来たのか？という思いでいました。ただ寄り添い話を聞く、来てもら

える、それだけでもありがたいとされました。元気に笑っていても、震災前の生活を話すと涙する。ただ、つまずいて聞くしかできません。逆に被災した方々に勇気をもたらし感じ、前に進めよう。

永い年月、寄り添い交流を重ねていく。そして、決して忘れず、物資支援はもろろん、いや、それよりも町が、市が復興する力を、その為の人々の気持ちの支援も大切だと思います。

また今回は、ボランティアのほかに復興高田商工会女性部さんに震災見舞金をお渡してきました。

(宮野ちか)



復興高田商工会女性部と被災者との交流活動の様子

### 震災関係見舞金及び支援物資等報告

平成二十二年四月～十ヶ月までの当女性部による東日本大震災への復興支援状況について、下のとおり報告いたします。

#### 収入の部

- 一山様より 一五〇〇〇円
- 手リタイアバザール様より 一三、五〇〇円
- 赤石設置費寄附 一、一三三円
- その他 一

#### 支出の部

- 新潟県商工会連合会より女性部へ 一〇、〇〇〇円
- いないない園遊会 一〇、〇〇〇円
- 収入合計 二四、七四四円

- 被災見舞金、
- 復興見舞金、
- 被災地商工会女性部へ 一五、〇〇〇円
- 復興支援金 一
- 八幡平市へ 六、七七一円
- 復興支援物資購入 一
- 岩手県商工会女性部連合会へ 一
- 湯たけん十個 六、九七四円
- 支出合計 二四、七四四円



復興支援金を八幡平市に交付

### 記念事業

#### エコキャップ回収事業報告

- 累計個数 一四、八〇〇個
- CO2削減効果 一七七kg
- フラスコ 一八五分

ご協力ありがとうございました。

講座  
元地講  
お楽しみ「森のレクリエーション」  
初秋の安比高原と五色沼など散策

安比高原のまきばの森林八幡平 五色沼 松尾民族資料館など散策

九月十二日、八幡平市地元学講座に参加させて頂きました。当日は、あいにくの雨でしたが、遠藤子部長の軽快な挨拶から始まり、参加された皆さんの明るい笑顔で、車中は楽しい雰囲気で始まりました。奥のまきばを散策する頃には、小雨となり、辺りはエゾオヤマリンドウも雨にぬれ、色鮮やかに映えています。またリナの二沢林では、樹齢百年のブナを見たり、手で感触を確かめたりもしました。昼は、楽しみにしていたサラダファームさんの花の森レストランでのランチコースを頂きました。木の香りが漂い、広げてゆたかに



八幡平 五色沼

した空間スペース、とても優雅で贅沢な時間を過ごすことができました。また、地元の特産品を使うたニユーや焼きだてのパンもとてもおいしく頂きました。レストランの周りは、沢山の種類の花々が咲いていて、天気が良いればゆっくりと散策も楽しめそうですね、とても癒される場所でした。五色沼、松尾民族資料館を見学して解散となりました。



安比高原「奥のまきば」を散策

初めて参加させて頂きましたが、地元でありながら、なかなか見学したり、行く事のない場所を見る事ができ、大変有感謝と楽しい一日でした。  
(澤口八十代)

県央ブロック商工会女性部視察研修  
世界遺産「平泉・中尊寺」を視察  
藤原氏の歴史文化にふれる

十一月四日。その日は、とても暖かく晴天にも恵まれ、山もみじの紅葉も本当にきれいで、県央ブロックの視察研修で、あの世界遺産に登録された「平泉」、当女性部から五名で参加しました。



観光ボランティアガイドさんの説明を聞いている

奥州藤原氏は中尊寺や毛越寺や無量光院を建てたそうです。合戦で多くの人達を亡くした為に平和な国を築こうと願い極楽浄土を表現した浄土庭園それが阿弥陀堂には清衡、基衡、秀衡の遺体を表徴が納められている金毘堂があり、藤原氏の栄華がしのばれます。世界遺産に認定されたこの様な壮大な歴史が納められています。観光ボランティアガイドの方が案内して下さいましたので、味わいのある説明(笑)を聞き漏らさぬ様必死に聞いてました。他の幹部の方々も初めてお会いしたと思え程皆さんの仲良くして下さい、感謝感謝の研修でした。ただ一つ、境内の華菜師堂の方を触って来なかったのが心残りです。  
(宮野志)

視察研修に参加するために盛岡駅から大型バスだったので、乗る前におやつまで配られ、まるで遠足気分。三十年ぶりに訪れた中尊寺はレストハウスこそ何となく昔の記憶のままでしたが、すっかり様変わりしてました。観光ボランティアガイドの方が案内して下さいましたが、味わいのある説明(笑)を聞き漏らさぬ様必死に聞いてました。他の幹部の方々も初めてお会いしたと思え程皆さんの仲良くして下さい、感謝感謝の研修でした。ただ一つ、境内の華菜師堂の方を触って来なかったのが心残りです。  
(宮野志)



中尊寺堂内(月見堂)

男女共同参画フォーラム



パナリティスカッションの様子

今年度で第五回目となる八幡平市男女共同参画フォーラムに、今回初めて参加させて頂きました。「災害・私たちが守る八幡平」や「たこと・やりたいこと・そしてできること」というテーマから、基調講演は、田野畑村の災害復旧というリアルタイムの災害復旧を伺いました。災害復旧という大変な状況下でやはり大切なのは「お互いを尊重し、協力しあう事」まさに男女共同参画の理念そのものだと気付かされました。パナリティスカッションも同様で豊かで住みよい地域づくりはやはり男女共同参画の理念とながっています。今回のフォーラムで古くから新しい発見をしたように思います。  
(上野千寿子)

●今回のお店

【安代】  
カフェレストラン  
ばばなっしゅ

我が街の  
元  
気  
印  
!!



3種類のハンバーグや  
7種類のバスタなど  
豊富なメニューが楽しめる。



この事でした。

また主人はオリジナ  
ルメニューを発売したり、日々  
奮闘されているのです。

取材に訪れた時、素直な笑顔で  
迎え入れて下さった奥様、いっ  
も厨房で美味しい料理を作っ  
ているオーナーの斉藤輝雄様より  
お話を伺きました。

お二人とも地域に根ざして、皆  
さんから愛される、お年寄りから  
子供までそして性別年齢に不  
てこられるお店を目指している



二人三脚で愛されるカフェレストランを営む  
斉藤さん御夫婦。美味しい食事と奥様の  
笑顔にほんとは癒されます。

「ヒート共」 ステキなタイムを「ば  
ばなっしゅ」で過ごしてみたい  
かがでしょうか!!是非、皆さんも  
足を運んでみて下さい。(伊藤規子)

焼肉のたれ作り講習会

十一月九日、田頭公民館において、焼  
肉のたれ作り講習会が行われました。  
十三名の参加者が二班に分かれ、手際  
よく進められました。

- ①リンゴの芯を取ったものを、にんにく  
と醤油を加えてかき混ぜる。
- ②①を鍋にあげ、砂糖と朝鮮漬の素を混  
ぜながら強火にかけます。
- ③沸騰したら、弱火に少し煮詰めて冷  
ます。

あっという間に、風味たっぷりの手作  
りたれが完成。一カ月以内で食べよう  
マイルドにしようです。

我が家で自分の作ったたれの焼肉パ  
ーティーが楽しめます。(橋本英子)



自然の恵みと地域の絆を大切にする中和やか

とっておきのレシピ  
ホットオレンジラム

ゾクゾクと寒気がする時や背中がこわばり  
始めると飲みたくなる。

●ホットオレンジラム

材料(2人分)  
・オレンジ 6個 ・ラム酒 適量

- ①オレンジを絞り、果汁を取る。
- ②小鍋(アルミ以外、ほうろろなど)に入れ  
て温め、ラム酒を加えて火を止める。  
※市販の100%オレンジジュースを使ってもよい。  
(羽沢厚子)

■材料(参考)

- ・りんご…1～2個
- ・にんにく…2株
- ・醤油…1リットル
- ・砂糖…400g～500g
- ・朝鮮漬の素…1袋



お知らせ

- 4月上旬…交通安全運動  
横断歩道のところに、ストップ  
マークを貼ります。
- 4月下旬…女性部通常総会  
今回は役員改選があります。

新入部員紹介



(西根地区)  
株)岩手エッグデリカ  
阿部恵美子さん

四月にオープン致しますフー  
ンドをぜひ皆様にご覧頂きたい  
と思います。スタッフ一同力を合わせ  
で作った三十六のテーマガーデン  
こそお楽しみ下さいませ。  
皆様から御指導頂き、活動を心  
ひいて覚えていきたいと思いま  
す。どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

千年に一度といふ東日本大震災から約一年  
が経とうとしています。震災直後は、カソリ  
ンの不足をはじめ、新鮮野菜も止まるなど、  
一時は商売を続けることが出来なくなるなど  
不安が毎日でしたが、やはり震災前後で  
は、自分自身をはじめ世の中の人々の価値  
観が変わるのには確かな変化がありました。昨  
年の「絆」はこのことを最も表している  
のではないのでしょうか。私共家族周りの々  
との絆が強く感じました。

今年を明るく平和な年であります様を心  
から祈ります。(橋本英子)